



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月16日

上場会社名 片倉コープアグリ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4031 U R L <https://www.katakuraco-op.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二井 英一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務本部長 (氏名) 杉本 真 (TEL) 03-5216-6611
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 30,211	% 3.5	百万円 453	% —	百万円 368	% —	百万円 △1,209	% —
2025年3月期第3四半期	29,191	△0.1	△44	—	△16	—	△39	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △1,070百万円 (−%) 2025年3月期第3四半期 16百万円 (−%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 △135.04	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	△4.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 51,022	百万円 22,613	% 44.2
2025年3月期	50,094	23,865	47.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 22,563百万円 2025年3月期 23,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 20.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 45,000	% 8.8	百万円 450	% △30.8	百万円 240	% △64.3	百万円 △2,000	% —

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）コープエンジニアリング株式会社
(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結範囲の重要な変更に関する注記）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	10,161,686株	2025年3月期	10,161,686株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,203,835株	2025年3月期	1,203,083株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	8,958,294株	2025年3月期 3Q	8,968,263株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点での入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際に業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「日本が誇る農業ソリューションカンパニーへ」「世界へ向けて素材の機能性を創出する肥料・化学品メーカーへ」をグループビジョンとして掲げ、中長期成長戦略（2025年8月29日公表）に基づき、2025年度からの構造改革を起点に、収益性と資本効率の改善を実現し、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

肥料事業においては、需要低迷が続く事業環境の下、生産拠点の再編と生産品目の最適化に取り組んでおります。生産集約に向けた準備として、将来的に生産の中核を担う工場において、生産数量の増加を見据えた設備能力の増強に着手するとともに、生産品目の合理化についても、段階的な実行を前提に、収益性や生産効率の観点から対象品目の整理を行い、推進方法の検討を進めております。併せて、2026年度からの組織体制の見直しを見据え、業務プロセス全体の効率化を一層推進するため、昨年10月より新基幹システムを本格稼働しております。一方で、近年注目が高まるバイオスティミュラント分野において、新規素材の評価および市場投入に向けた検討を継続しております。製品構成の充実と販売促進活動の一層の強化を通じ、同分野における市場拡大を図ってまいります。また、当社はリモートセンシングを活用した営農支援ツールの開発とその機能検証、ならびに近赤外分光法と独自に構築したAI技術を組み合わせた新たな土壤分析技術の実装を進めております。

これらにより、農業現場で求められる多様なニーズに対応しうる製品・サービスを拡充することで、肥料メーカーとしての役割を拡張し、「農業ソリューションカンパニー」への進化を目指してまいります。

化学品事業において、有機素材（化粧品原料）では、出資先であるインドネシアの販売商社を通じ、インドネシア市場での展開強化及び東南アジア諸国への販路拡大を進めております。無機素材においては、マイクロビーズ代替やUVケア製品向けの高機能化粧品原料、ならびに食品包装用途におけるモノマテリアルパッケージ対応のバリア性素材の開発・海外展開を強化しております。化成品については、事業の多角化を図るため、海外展開やHALAL認証の活用を通じて新規市場への参入を進め、リン酸製品のシェア拡大に取り組むとともに、リン酸化合物等の市場展開を推進しております。

両事業において、既存分野以外への事業展開も視野に入れ、M&Aや資本業務提携といった戦略的投資に引き続き取り組んでまいります。

不動産事業においては、2025年8月末に賃貸用ビル「KCA SHIBUYA bldg.」が竣工いたしました。同ビルは、安定収益の確保に資する資産と位置づけており、安定的なキャッシュ・フローの創出を通じて、当社グループの財務基盤を支える事業の一つとして展開しております。

こうした取り組みを通じて、当社グループは事業ポートフォリオを最適化し、企業価値の向上と持続的な成長を実現してまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は30,211百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益453百万円（前年同期は営業損失44百万円）、経常利益368百万円（前年同期は経常損失16百万円）となり、黒字転換いたしました。一方、中長期成長戦略における生産拠点の再編に伴う構造改革費用2,640百万円の内、1,710百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,209百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円）となりました。

各セグメント別の概況は以下の通りです。

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、これまで「その他」の区分に含めていた海外事業、農産物及び物資その他、プラント等の設計及び施工、運送業務等の各事業等を、それらを所管する「肥料」及び「化学品」の各セグメントに組み替えて表示しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、見直し後のセグメント区分に基づいて作成したものを記載しております。

肥料事業は、販売数量が増加し、売上高24,653百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益11百万円（前年同期は477百万円の損失）となりました。

化学品事業は、インドネシアを含む海外向けの化粧品原料等の販売が増加したものの、リン酸を中心に販売数量が減少したことにより、売上高5,617百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益395百万円（前年同期比

19.1%減)となりました。

不動産事業は、2025年8月末に竣工した賃貸用ビルの運用開始に伴い賃料収入が寄与し、売上高345百万円（前年同期比52.0%増）、セグメント利益79百万円（前年同期比496.6%増）となりました。

その他の事業は、連結子会社において水産エキスの販売数量増加により、売上高291百万円（前年同期比22.0%増）、セグメント利益14百万円（前年同期は12百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産の合計は51,022百万円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）に比べ927百万円増加しました。

同じく負債の合計は、28,408百万円となり、前年度末に比べ2,179百万円増加し、純資産の合計は22,613百万円となり、前年度末に比べ1,251百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は前年度末の47.5%から44.2%となり、1株当たり純資産額は前年度末の2,658.36円から2,518.85円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結業績を踏まえた2026年3月期の連結業績予想につきましては、前回発表の予想（2025年8月29日公表）から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,105	3,170
受取手形及び売掛金	10,812	8,166
商品及び製品	9,268	9,450
仕掛品	953	522
原材料及び貯蔵品	6,242	6,434
その他	500	852
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	29,878	28,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,619	8,168
機械装置及び運搬具（純額）	2,259	2,346
土地	7,415	7,415
その他（純額）	1,835	817
有形固定資産合計	17,129	18,747
無形固定資産	891	1,108
投資その他の資産		
その他	2,211	2,590
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,194	2,572
固定資産合計	20,216	22,428
資産合計	50,094	51,022

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,947	6,710
短期借入金	12,310	11,300
1年内返済予定の長期借入金	—	360
未払法人税等	227	53
賞与引当金	432	213
その他	2,033	1,696
流動負債合計	21,949	20,333
固定負債		
長期借入金	2,200	4,625
役員退職慰労引当金	197	227
構造改革引当金	—	※ 1,380
退職給付に係る負債	1,063	977
資産除去債務	286	285
その他	531	579
固定負債合計	4,279	8,075
負債合計	26,229	28,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,214	4,214
資本剰余金	9,906	9,906
利益剰余金	10,309	8,919
自己株式	△1,407	△1,408
株主資本合計	23,022	21,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328	484
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	—	△2
退職給付に係る調整累計額	463	448
その他の包括利益累計額合計	792	931
非支配株主持分	49	50
純資産合計	23,865	22,613
負債純資産合計	50,094	51,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	29,191	30,211
売上原価	25,111	25,382
売上総利益	4,079	4,828
販売費及び一般管理費	4,124	4,375
営業利益又は営業損失（△）	△44	453
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	18	22
持分法による投資利益	25	21
その他	126	91
営業外収益合計	170	136
営業外費用		
支払利息	66	116
操業休止等経費	—	70
その他	75	34
営業外費用合計	142	221
経常利益又は経常損失（△）	△16	368
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	31	91
構造改革費用	—	※ 1,710
その他	0	—
特別損失合計	32	1,802
税金等調整前四半期純損失（△）	△47	△1,431
法人税、住民税及び事業税	△6	64
法人税等調整額	△2	△286
法人税等合計	△8	△222
四半期純損失（△）	△39	△1,209
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△39	△1,209

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失（△）	△39	△1,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	155
繰延ヘッジ損益	18	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△2
退職給付に係る調整額	△8	△15
その他の包括利益合計	55	138
四半期包括利益	16	△1,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16	△1,071
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であったコープエンジニアリング株式会社は、同じく当社連結子会社であるコープ商事物流株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。また、コープ商事物流株式会社は吸収合併後、商号を「KCA L&E株式会社」に変更し、事業を継続しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度により発生した原価差異のうち、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるものについては、当該原価差異を繰り延べております。

(追加情報)

(グループ通算制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従っております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 構造改革引当金は、構造改革に伴い発生する損失に備えるために当該損失見込額を計上しております。

(四半期連結損益計算に関する注記)

※ 構造改革費用

当社は、中長期成長戦略の策定により生産拠点の再編に伴う構造改革費用を計上しております。その内訳は、生産設備解体費用引当1,331百万円、固定資産に係る減損損失255百万円、棚卸資産の評価損123百万円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	953百万円	1,013百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	肥料	化学品	不動産	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	23,490	5,233	—	28,723	238	28,962	—	28,962
その他の収益	9	—	220	229	—	229	—	229
外部顧客への売上高	23,499	5,233	220	28,952	238	29,191	—	29,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	65	532	6	605	—	605	△605	—
計	23,564	5,765	227	29,558	238	29,796	△605	29,191
セグメント利益又は損失(△)	△477	488	13	24	△12	11	△55	△44

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	肥料	化学品	不動産	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	24,571	5,001	—	29,572	291	29,863	—	29,863
その他の収益	8	—	338	347	—	347	—	347
外部顧客への売上高	24,579	5,001	338	29,919	291	30,211	—	30,211
セグメント間の内部売上高又は振替高	74	615	6	696	—	696	△696	—
計	24,653	5,617	345	30,616	291	30,907	△696	30,211
セグメント利益	11	395	79	486	14	501	△47	453

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△47百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメント変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、これまで「その他」の区分に含めていた海外事業、農産物及び物資その他、プラント等の設計及び施工、運送業務等の各事業等を、それらを所管する「肥料」及び「化学品」の各セグメントに組み替えて表示しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、見直し後のセグメント区分に基づいて作成したものをお記載しております。